PagePro™ 1300W/1350W
ユーザーズガイド

4136-7747-04K

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。PagePro 1300W/1350W は、Windows 環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。http://printer.konicaminolta.jp より " サポート " を選び、" オンラインユーザー登録 " にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申し込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。PagePro は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権について

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

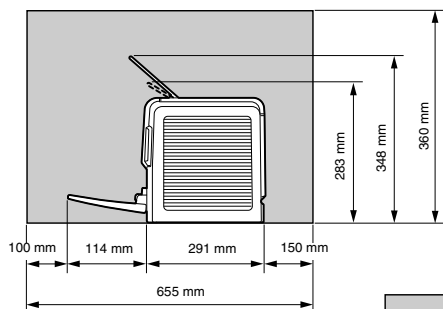
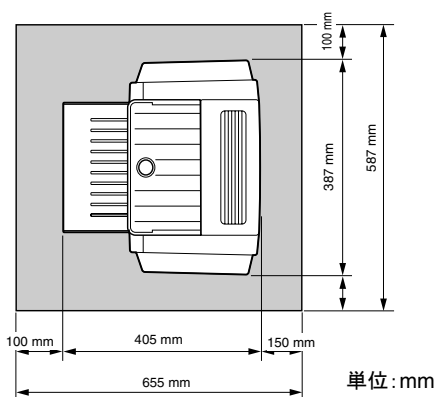
- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

もくじ

1 はじめに

お使いになる前に

設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

各部の名称

以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

前面

1 トップカバー

2 排紙トレイ

3 操作パネル

4 イメージングカートリッジ（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ）

5 前カバー

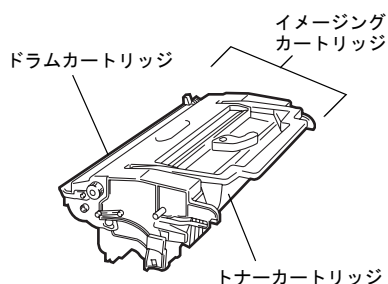
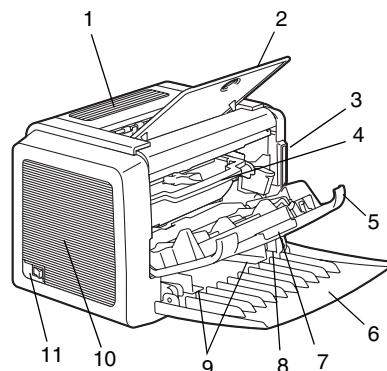
6 給紙トレイ 1

7 前カバーグリップ

8 用紙ガイドストッパー

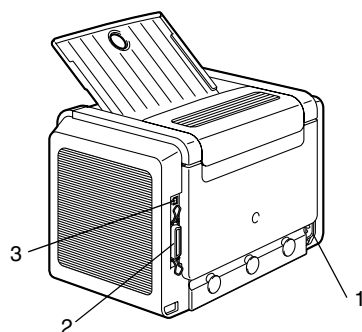
9 用紙ガイド

10 換気ダクト

11 電源スイッチ

背面

1 AC 電源インレット

2 パラレルポート

3 USB ポート

ランプの機能について

ランプの機能

操作パネルにはランプが 2 つとボタンが 1 つあります。操作パネルのランプはプリンタの状態を示しています。

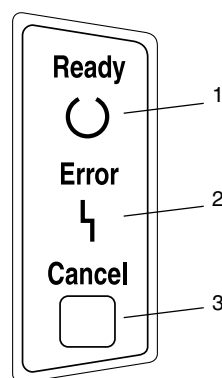
1 ［Ready］ランプ

2 ［Error］ランプ

3 ［Cancel］ボタン

［Cancel］ボタンを使用して次のことができます。

■ エラーメッセージが表示された後も印刷ジョブを継続する

■ 印刷ジョブをキャンセルする

エラーメッセージが表示された後も印刷ジョブを継続する

以下の種類のエラーを解除した後に印刷ジョブを続けることができます。

■ 印刷ジョブが複雑すぎてプリンタのメモリ容量が不十分な場合

■ 給紙トレイの用紙がなくなった場合

■ プリンタドライバで設定された形式と異なった形式の用紙がプリンタへ給紙された場合

1 上記のエラーが発生していないかどうか確認します。

2 発生したエラーに対して改善の処置を行います。

3 ［Cancel］ボタンを押して給紙処理を行います。
印刷ジョブが継続されます。

エラーメッセージについて詳しくは、第 8 章「トラブルシューティング」（p.49）をご覧ください。

印刷ジョブのキャンセル

現在処理中の印刷ジョブをキャンセルすることができます。

1 データの処理中または印刷中に（緑の［Ready］ランプ点滅中に）、［Cancel］ボタンを 5 秒以上押し続けます。

2 ［Ready］ランプと［Error］ランプが両方とも点灯したら［Cancel］ボタンから手を離します。
これで現在処理中の印刷ジョブがキャンセルされました。

ランプには 5 種類の信号があります。

- オフ
- 点灯
- ゆっくり点滅：2 秒に 1 回点滅
- 点滅：1 秒に 1 回点滅
- すばやく点滅：1 秒に 2 回点滅

ステータスメッセージ

ステータスメッセージは現在のプリンタの状況を示すメッセージです。プリンタの状況は、ステータスディスプレイでも確認することができます。ステータスディスプレイについて詳しくは、第 4 章「ステータスディスプレイの使いかた」（p.15）をご覧ください。

<table>
<tr><th>［Ready］
ランプ（緑）</th><th>［Error］
ランプ
（オレンジ）</th><th>状況</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オフ</td><td>電源がオフになっている</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>オフ</td><td>印刷可能状態</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>すばやく点滅</td><td>オフ</td><td>ウォーミングアップ中</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">点滅</td><td rowspan="2">オフ</td><td>データの処理中</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>印刷中</td></tr>
<tr><td rowspan="2">点灯</td><td rowspan="2">点灯</td><td>初期化中
（電源投入時）</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>印刷ジョブのキャンセル中</td></tr>
<tr><td>ゆっくり点滅</td><td>オフ</td><td>節電モードの状態</td><td>なし</td></tr>
</table>

［Ready］ランプ（緑）	［Error］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
点灯	ゆっくり点滅	トナーがまもなくなくなる	新しいトナーカートリッジを用意してください。
点灯	点滅	トナーがなくなった	トナーカートリッジを交換してください。
点灯	すばやく点滅	トナーカートリッジを使い切った	トナーカートリッジを交換してください。
		トナーカートリッジが取り付けられていないか、検出できない	トナーカートリッジを取り付けてください。トナーカートリッジが取り付けられている場合は、カバーを開けてトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。
		適正でないトナーカートリッジが検出された	KONICA MINOLTA 指定のトナーカートリッジを取り付けてください。

ご注意

指定された製品番号以外のトナーカートリッジ、純正でないトナーカートリッジあるいは寿命に達したトナーカートリッジを使用した場合は、1 ページ印刷するごとにクリーニングが行われるため、印刷速度が低下します。

ソフトウェアの インストール 2

USB デバイスドライバのインストール

USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続する場合、プリンタドライバをインストールする前に、次の手順にしたがって USB デバイスドライバをインストールしてください。

ご注意

Windows 2000/XP の場合は、USB デバイスドライバをインストールする必要はありません。「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されたときは、キャンセルして閉じてください。

Windows Me/98 での USB デバイスドライバのインストール

1 お使いのコンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタの両方の起動が完了したら、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

4 USB ケーブルで、プリンタをお使いのコンピュータに接続します。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。
画面の指示にしたがって操作してください。

プリンタドライバの入っている CD-ROM を参照して、以下のフォルダを表示します。
drivers¥Japanese¥Win9x（Windows Me/98 の場合）

5 ［完了］をクリックします。これで USB デバイスドライバのインストールが完了しました。

6 ［完了］をクリックした後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

プリンタドライバのインストール

CD-ROM からのインストール

1 CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
CD-ROM のインストールプログラムが自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、Windows のエクスプローラで CD-ROM を表示し、「setup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 インストール方法について詳しくは「PagePro 1300W/PagePro 1350W CD-ROM リファレンスガイド」をご覧ください。

USB 接続の場合は、プリンタポートとして「USBxxx」を選択してください。
パラレル接続の場合は、プリンタポートとして「LPTx」を選択してください。

プリンタドライバ
の使いかた

プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows XP での設定画面の表示

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」を選択します。

2 「作業する分野を選びます」で「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

3 「作業を選びます」で「インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する」をクリックします。

4 「プリンタと FAX」ウィンドウで「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W」プリンタアイコンを選択します。

5 プリンタドライバ設定画面を表示するには、「ファイル」メニューから「印刷設定」を選択します。

Windows 2000/Me/98 での設定画面の表示

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックして、「プリンタ」ウィンドウを表示します。

2 「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W」プリンタアイコンを選択します。

3 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**:「ファイル」メニューから「印刷設定」を選択します。
- **Windows Me/98 の場合**:「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択してから、「プロパティ」タブをクリックします。

プリンタドライバの使用方法

各機能の情報については、プリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。

各画面で共通のボタン

以下のボタンは各タブの画面内にあります。

OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にしてダイアログを閉じます。

キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にしてダイアログを閉じます。

適用

このボタンをクリックすると、ダイアログを閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

ヘルプ

このボタンをクリックすると、オンラインヘルプが表示されます。

カスタム設定

現在の設定を保存するときは［保存］ボタンをクリックします。一度登録しておくと、その設定を後でドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

ドロップダウンリストで「既定値（デフォルト）」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

ページレイアウト

このオプションボタンを選択すると、ページレイアウトのサンプルが表示されます。

プリンタ図

このオプションボタンを選択すると、プリンタ構成の図が表示されます。

「セットアップ」タブ

「セットアップ」タブの画面では、以下の操作が可能です。

- 文書中の複数のページを 1 枚の用紙内に印刷する（N-up 印刷）
- 印刷する文書にウォーターマークを付ける
- ウォーターマークのカスタム設定
- 手動両面印刷の指定
- 給紙トレイの指定
- 用紙の種類の定義
- 書式オーバーレイを使用した印刷
- 書式オーバーレイの作成／編集

「用紙」タブ

「用紙」タブの画面では、以下の操作が可能です。

- オリジナル文書サイズの指定
- 用紙のカスタムサイズの定義
- 印刷する文書を特定の用紙サイズに合わせる設定
- 印刷する用紙サイズの選択
- 文書の倍率（拡大／縮小）の設定
- 印刷位置の調整
- 印刷部数の指定
- プリンタのソート機能のオン／オフ
- 校正印刷機能のオン／オフ
- 印刷の向きの指定
- 印刷画像を用紙の向きに対して 180°回転

「品質」タブ

「品質」タブの画面では、以下の操作が可能です。

- 解像度の指定
- 印刷する文書のコントラストと明度の調整
- トナーセーブモードのオン／オフ

「デバイス オプション設定」タブ

「デバイス オプション設定」タブの画面では、以下の操作が可能です。

- プリンタドライバのバージョン情報とコピーライト情報の表示

ステータスディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイの使いかた

はじめに

ステータスディスプレイは、コンピュータとプリンタをローカル接続している場合にプリンタの現在の状態を表示します。

動作環境

ステータスディスプレイは、パラレルケーブルまたは USB ケーブル経由で接続されている状態で、Windows XP/2000/Me/98 で使用できます。

ステータスディスプレイを開く／消耗品の状態を表示する

以下の操作でステータスディスプレイを開きます。

■ **Windows XP の場合**：［スタート］メニューの「すべてのプログラム」から「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W ユーティリティ」を選択し、「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W ステータス」をクリックします。

■ **Windows Me/2000/98 の場合**：［スタート］メニューの「プログラム」から「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W ユーティリティ」を選択し、「KONICA MINOLTA PagePro 1300W/PagePro 1350W ステータス」をクリックします。

ステータスディスプレイのウィンドウサイズの変更

■ 「表示」メニューから「縮小」を選択すると、ウィンドウサイズが小さくなります。

■ 「表示」メニューから「拡大」を選択すると、ウィンドウサイズが大きくなります。

ステータスディスプレイの使いかた

■ ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が緑色のときは、プリンタが待機状態であるか、問題なく印刷処理が行われている状態です。

■ ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が赤色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。このとき、プリンタの状態とエラーメッセージが画面左側に表示されます。

ステータスディスプレイの機能は以下のとおりです。

- **プリンタステータス**：プリンタの現在の状態を示すメッセージが表示されます。
- **回復方法**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。
- **警告ステータス**：注意が必要な状態（例：トナーの交換時期が近い）を知らせるメッセージが表示されます。
- **プリンタステータス図**：プリンタの状態を示す図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。
- **プリント状態**：処理中のプリントジョブの状態が表示されます。
- **ポップアップ設定**：プリンタの状態の中で、どの状態をポップアップ表示させるかを指定することができます。
- **メンテナンス**：「深夜モード」機能と「自動継続」機能を指定することができます。
- **消耗品状況**：トナーカートリッジの残容量（何%残っているか）が表示されます。

各機能の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ステータスディスプレイの警告の確認

ステータスディスプレイがプリンタの問題を検知すると、設定によりますが、一度にいくつかの処理が行われます。まず、アイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、赤色に変わります。

これらの設定について詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

ステータスディスプレイの警告の解除

ステータスディスプレイがプリンタに問題の発生を表示しているときに、ステータスディスプレイのアイコンをダブルクリックしてステータスディスプレイを開きます。ステータスディスプレイには、エラーが発生しているプリンタと、発生したエラーの内容が表示されます。

これらの設定について詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

ステータスディスプレイを閉じる

ステータスディスプレイを終了するときは、「ファイル」メニューから「終了」を選択してください。

ステータスディスプレイのウィンドウ右上の［×］ボタンをクリックすると、ウィンドウは閉じますが、タスクバーの右端に最小化されて残ります（終了しません）。タスクバー右端のアイコンをダブルクリックすると、ステータスディスプレイが再度表示されます。

用紙の取り扱い

用紙について

使用可能な用紙のサイズ／坪量

用紙	用紙サイズ （単位：mm）	坪量
A4	210.0 × 297.0	60 ～ 90 g/m^2
B5 (JIS)	182.0 × 257.0	
A5	148.0 × 210.0	
Legal	215.9 × 355.6	
Letter	215.9 × 279.4	
Statement	140.0 × 216.0	
Executive	184.0 × 267.0	
Folio	210 × 330.0	
Letter Plus	216 × 322	
UK Quarto	203 × 254	
Foolscap	203 × 330	
G. Letter	203 × 267.0	
G. Legal	216 × 330	
Chinese 16	185.0 × 260.0	
Chinese 32	130.0 × 185.0	
16K	195 × 270	
B5 (ISO)	176.0 × 250.0	
Envelope #10	105 × 241	
Envelope C5	162.0 × 229.0	
Envelope DL	110.0 × 220.0	― *
Envelope Monarch	98.0 × 191.0	60 ～ 90 g/m^2
Envelope C6	114.0 × 162.0	
封筒長形 3 号	120 × 235	
封筒長形 4 号	90 × 205	
官製はがき	100.0 × 148.0	― *
往復はがき	148 × 200	
厚紙		91 ～ 163 g/m^2
備考 * ―：指定なし		

セット可能な用紙の種類／枚数

用紙の種類 ＼ 給紙トレイ／最大枚数		給紙可能な枚数 給紙トレイ 1
普通紙	60 ～ 90 g/m^2	150 枚
特殊紙	封筒	10 枚
	ラベル紙	10 枚
	レターヘッド	10 枚
	官製はがき	50 枚（おもて面）
		20 枚（裏面）
	厚紙 91 ～ 163 g/m^2	10 枚
	OHP フィルム	5 枚

ご注意

給紙トレイの内側にある最大補給量マークより上に用紙をセットしないでください。マークを超えてセットすると、正しく給紙されない場合があります。

用紙の保管

用紙をセットするまでは、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。

用紙を包装紙から取り出していた場合は、元の包装紙に包み、冷暗所に保管してください。

用紙を以下のような場所に保管しないでください。

■ 水気のある場所、湿気の高い場所
湿度が 30% ～ 65% の場所に用紙を保管してください。トナーは湿気のある用紙や濡れている用紙にはうまく付着しません。
また、用紙を包装紙に包まずに長い間保管すると、乾燥しすぎて紙づまりを起こす場合があります。

■ 直射日光の当たる場所

■ 温度の高い（35 ℃以上の）場所

■ ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置いたりしないでください。

大量の用紙や特殊紙を購入する前に、事前に試し印刷を行い、印刷品質を確認してください。

印刷に適さない用紙

ご注意

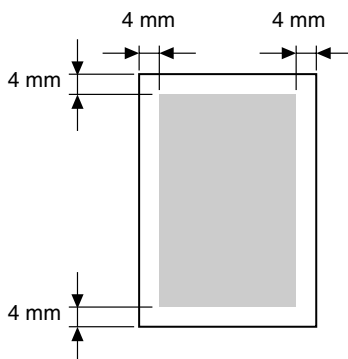
以下のような用紙は使用しないでください。印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。また、これらの用紙を使用した場合は、保証の対象外となります。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された用紙など）
- カーボン紙
- アイロンプリント用紙（感熱紙、熱転写用紙）
- 冷水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用の特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  - インクジェットプリンタで印刷された用紙
  - モノクロ／カラーのレーザープリンタやコピー機で印刷された用紙
  - 熱転写プリンタで印刷された用紙
  - 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、3 穴パンチされた用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（205 ℃）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で裁断されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

以下の用紙を使用してください。

■ 標準の事務用紙など、レーザープリンタ対応の普通紙

印刷保証範囲と印刷可能範囲

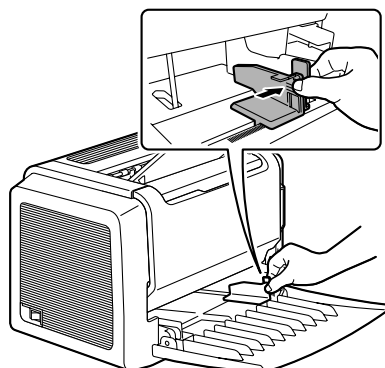
用紙サイズには印刷可能領域（画像のゆがみや欠損がなく印刷される最大領域）があります。

ページのマージン

マージンはお使いのアプリケーションで設定されています。アプリケーションによってはページサイズやマージンをユーザー設定できますが、標準のページサイズとマージンしか選択できないアプリケーションもあります。標準のフォーマットを選ぶと、印刷可能領域の制限のために、作成した部分が印刷されない場合があります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

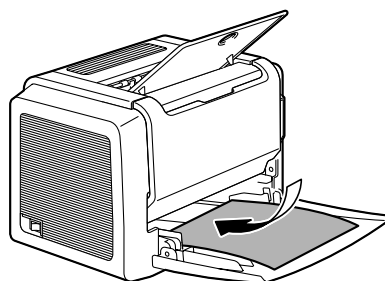
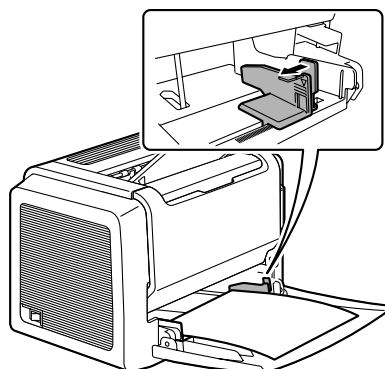
用紙のセット

給紙トレイ 1 への用紙のセット

給紙トレイ内の用紙が完全になくなってからセットしてください。

1 右側の用紙ガイドをつまんで用紙ガイドを開きます。

2 印刷面を上にして、用紙を縦向きに給紙トレイにセットします。

約 150 枚の用紙（75 g/m^2 の普通紙）をセットできます。最大補給量マークを超えて用紙をセットすると、正しく給紙されない場合があります。

レターヘッドをセットする時は印刷面を上向きにしてレターヘッドが（プリンタに向かって）頭側にくるようにしてください。

3 右側の用紙ガイドをつまみ、用紙幅に合わせて用紙ガイドを調整します。

用紙への印刷

カスタムサイズの用紙のセットと印刷

以下のサイズに適合しないカスタムサイズの用紙は使用しないでください。

■ **幅**：76 mm ～ 216 mm

■ **長さ**：127 mm ～ 356 mm

1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「普通紙」を選択します。

2 用紙サイズを設定します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」－［カスタム用紙］）。

3 印刷面を上にして、カスタムサイズの用紙を縦向きに給紙トレイ 1 にセットします。

4 用紙ガイドをカスタムサイズの用紙の幅に合わせます。

ご注意

用紙ガイドが用紙の端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

5 カスタムサイズの用紙への印刷を行います。

封筒のセットと印刷

封筒に印刷を行う前にテストページの印刷を行っておくことをお薦めします。印刷した結果、向きが思ったとおりになっていなかった場合は、プリンタドライバで「回転」（「用紙」タブの「印刷の向き」の項目）を選択してください。

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

以下の封筒を使用してください。

- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒
- レーザープリンタ対応の封筒
- 乾いている封筒
- 住所記入する側（おもて）のみ印刷

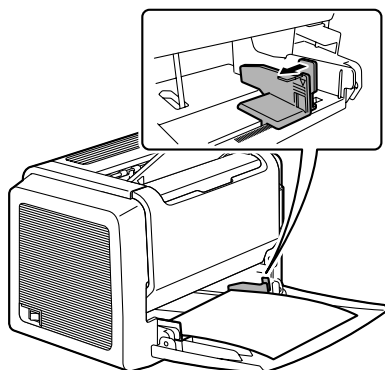
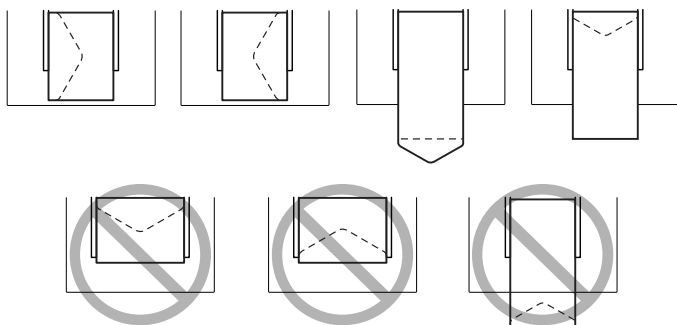
1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「封筒」を選択します。

2 封筒のサイズを選択します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」の項目）。

3 封筒を平らな場所に置き、封筒の隅を押さえて伸ばします。

4 なめらかに給紙されるように、封筒の束をさばきます。

5 封筒の隅が曲がっていれば伸ばし、平らな場所で軽くトントンと打ち付けて端をそろえます。

6 右側の用紙ガイドをつまんで用紙ガイドを開きます。

7 図のように、印刷面を上にして、封筒を縦向きにセットします。

ご注意

封筒のおもて面（宛先を記入する面）にのみ印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（おもて面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

8 用紙ガイドが封筒の幅に合っているか、もう一度確認してください。

ご注意

用紙ガイドが封筒の端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

9 封筒に印刷を行います。

10 封筒が排紙トレイに出力されたらすぐに（温度が下がる前に）各封筒のフタを開けてください。

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

ラベル紙のセットと印刷

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚ずつ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションでラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷に関するその他の情報については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着部に貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

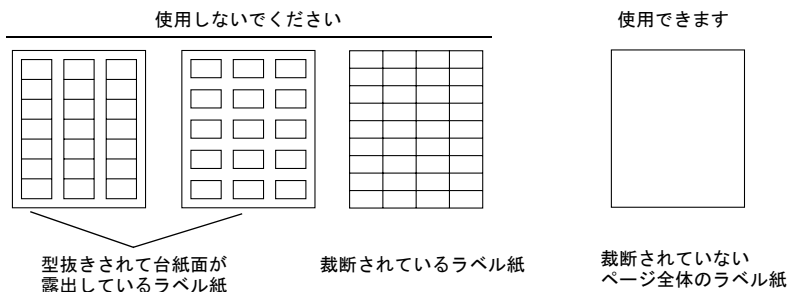
■ 最初から裁断されているラベル紙

使用しないでください

使用できます

型抜きされて台紙面が露出しているラベル紙

裁断されているラベル紙

裁断されていないページ全体のラベル紙

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「厚紙」を選択します。

2 ラベル紙のサイズを選択します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」の項目）。

3 印刷面を上にして、ラベル紙を縦向きに給紙トレイ 1 にセットします。

4 用紙ガイドをラベル紙の幅に合わせます。

ご注意

用紙ガイドが用紙の端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

5 ラベル紙に印刷を行います。

はがきのセットと印刷

以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンタ用はがき

■ 色加工されているもの

■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの（紙づまりの原因となります）

以下のはがきを使用してください。

■ レーザープリンタ用の官製はがき（100 × 148 mm）

1. プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「官製はがき」を選択します。
2. はがきのサイズを選択します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」の項目）。
3. はがきを平らな場所に置き、隅を押さえて伸ばします。
4. 給紙トレイ 1 にある用紙を取り除きます。
5. 印刷面を上にして、はがきを縦向きに給紙トレイ 1 にセットします。
6. 用紙ガイドをはがきの幅に合わせます。

   ご注意

   用紙ガイドがはがきの端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

7. はがきに印刷を行います。

厚紙のセットと印刷

どのような厚紙の場合でも、十分な印刷品質が得られるか、また印刷がずれないか、あらかじめ試し印刷を行ってください。

以下のような厚紙の使用はしないでください。

■ 給紙トレイ内で厚紙と他の用紙を混ぜてセットしないでください（紙づまりの原因になります）。

ご注意

同じ給紙トレイ内で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

1. プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「厚紙」を選択します。
2. 厚紙のサイズを選択します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」の項目）。
3. 印刷面を上にして、厚紙を縦向きに給紙トレイ 1 にセットします。
4. 用紙ガイドを厚紙の幅に合わせます。

   ご注意

   用紙ガイドが用紙の端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

5. 厚紙に印刷を行います。

OHP フィルムのセットと印刷

ご注意

表面加工されたカラー OHP フィルム用など、対応していない OHP フィルムを使用すると、プリンタが故障する恐れがあります。また、その場合は保証の対象外となります。

静電気が起きないように、印刷したらすぐに排紙トレイから OHP フィルムを取り除いてください。

OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。OHP フィルムになるべく手を触れないようにしてください。

OHP フィルムにも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質、静電気の発生、印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の OHP フィルムをセットしてください。

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

■ カラープリンタ／カラーコピー機用の OHP フィルムなど、表面加工されているもの

■ 静電気が発生し、互いにくっつくもの

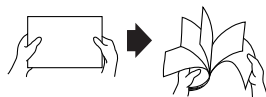
以下の OHP フィルムを使用してください。

■ 表面加工されていないモノクロの OHP フィルム

1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「用紙の種類」の項目）で、「OHP フィルム」を選択します。

2 OHP フィルムのサイズを選択します（「用紙」タブの「オリジナル文書サイズ」の項目）。

3 数枚のOHPフィルムをさばきます。

大量の OHP フィルムをさばくと、静電気が発生します。

4 印刷面を上にして、OHP フィルムを縦向きに給紙トレイ 1 にセットします。

5 用紙ガイドを OHP フィルムの幅に合わせます。

ご注意

用紙ガイドが OHP フィルムの端にきちんと合っていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因になります。

6 OHP フィルムに印刷を行います。

7 印刷された OHP フィルムを排紙トレイからすぐに取り除きます。

手動両面印刷

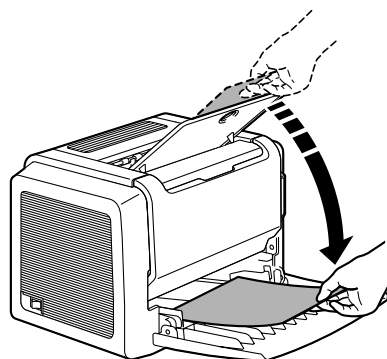
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。あらかじめ試し印刷を行い、裏映りの度合いを確認してください。

手動両面印刷の方法

差し込んだ印刷済みの用紙が完全に平らでない場合は、紙づまりが起こる可能性があります。

1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「両面印刷 / 小冊子（袋とじ）印刷」の項目）で、「短辺綴じ」「長辺綴じ」「小冊子左綴じ」「小冊子右綴じ」の中から適切な設定を選択します。

2 お使いのソフトウェアの印刷ダイアログで、全ページ印刷を行います。

3 排紙トレイに片面印刷された用紙を向きを変えないでそのまま給紙トレイ 1 に差し込みます。

4 コンピュータ画面上の［続行］キーをクリックするか、操作パネルの［キャンセル］ボタンを押します。

消耗品の交換

トナーカートリッジの交換

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、http://printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジの取り扱いについて

本プリンタではブラック（黒）のトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取り扱いには十分に注意してください。

トナーを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、Error 状態（オレンジランプの点滅）がクリアされません。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をご覧ください。最高の画質とパフォーマンスを得るため、下表の KONICA MINOLTA 純正トナーカートリッジをご使用ください。プリンタタイプとトナーカートリッジは、前カバーの内側にある「Consumables Reorder」ラベルで確認することができます。

PagePro 1300W

プリンタタイプ	プリンタ製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
JP	5250216-300	トナーカートリッジ	1710566-004
		大容量トナーカートリッジ	1710567-004

PagePro 1350W

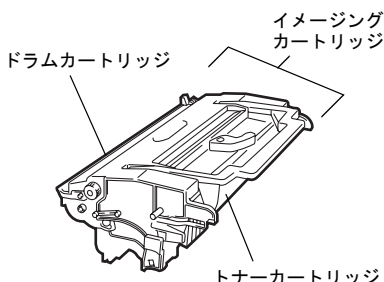
プリンタタイプ	プリンタ製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
JP	5250217-300	トナーカートリッジ	1710566-004
		大容量トナーカートリッジ	1710567-004

ご注意

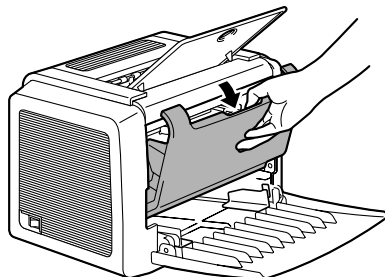
指定された製品番号以外のトナーカートリッジあるいは KONICA MINOLTA 純正でないトナーカートリッジあるいは寿命に達したトナーカートリッジを使用した場合は、1 ページ印刷するごとにクリーニングが行われるため、印刷速度が低下します。

トナーカートリッジの交換手順

ステータスディスプレイ上にトナーカートリッジ残量少が表示されると、まもなくトナーカートリッジの交換時期です。トナーの残量表示は参考値です。警告表示がでても印刷は継続することができます。しかしながら印字が徐々にかすれてきた時は、できる限り早くトナーカートリッジを交換してください。

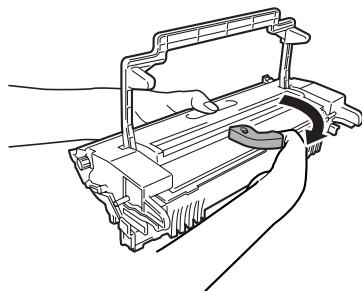
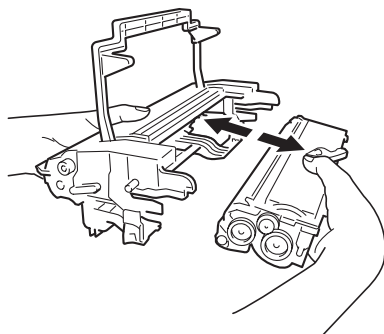
本書では、ドラムカートリッジにトナーカートリッジが取り付けられているものを、イメージングカートリッジといいます。

1 前カバーグリップをつかみ、前カバーを開きます。

2 イメージングカートリッジの取っ手を手前に引いて、イメージングカートリッジを取り出します。

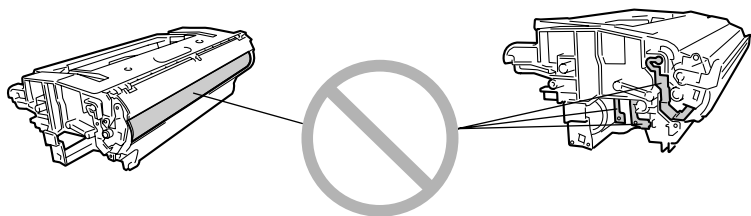
ご注意

イメージングカートリッジを長時間光に当てないでください。ドラムカートリッジが光に当たると、画像品質が低下する恐れがあります。

3 トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に動かします。

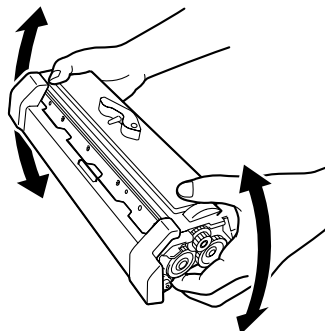
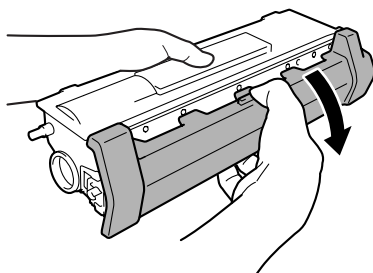
4 両手でトナーカートリッジとドラムカートリッジを引き離します。

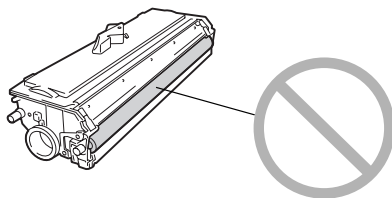
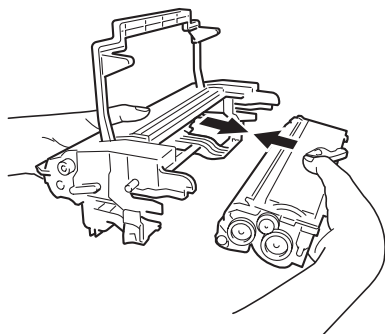
ご注意

トナーカートリッジとドラムカートリッジを引き離すときは、水平なままで行ってください。

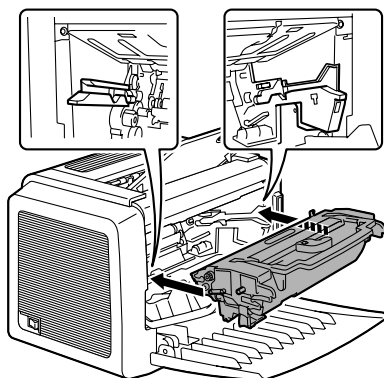
ドラムカートリッジのフタの下にある PC ドラムには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

ドラムカートリッジの金属部品には触れないでください。触れると、静電気により損傷する恐れがあります。

5 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

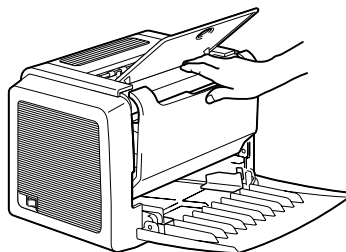
箱は捨てないでください。使用済みのトナーカートリッジを梱包するときに使用します。

6 トナーカートリッジを両手でしっかりと押さえて前後左右に振り、トナーを均一にします。

7 トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。

ご注意

トナーカートリッジの現像ローラーには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

8 両手でトナーカートリッジとドラムカートリッジを持ちながら、ドラムカートリッジのカラーのマークをトナーカートリッジの同じ色のマークに沿わせて、両方のカートリッジをはめ合わせます。

9 イメージングカートリッジをプリンタ側のガイドに沿わせて、中に差し込みます。

ご注意

イメージングカートリッジを斜めに差し込んだり無理な力で押し込んだりしないでください。プリンタが損傷する恐れがあります。

---

10 前カバーグリップを押して、前カバーを閉じます。

11 使用済みのトナーカートリッジを、新しいトナーカートリッジが入っていた箱に入れます。

ドラムカートリッジの交換

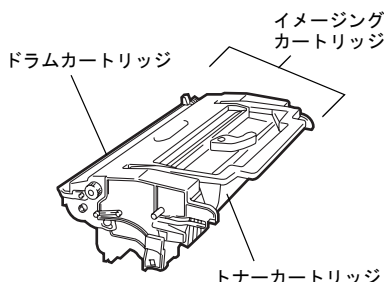
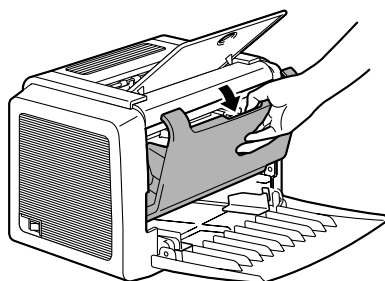
印刷がかすんだりぼやけたりしてきたときは、ドラムカートリッジに問題がある場合があります。

ドラムカートリッジの寿命は、A4 サイズの用紙で約 16,000 枚（単ページ印刷の場合）から 20,000 枚（連続印刷の場合）です（平均印字率 5% 以下の場合）。

ステータスディスプレイの「プリント」メニューで「コンフィグページの印刷」を選択して印刷を行い、総印刷枚数を確認してください。

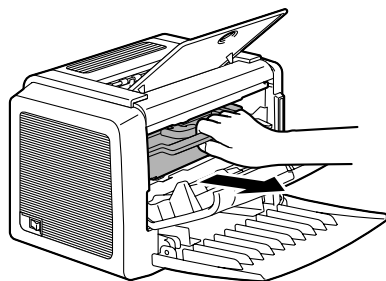
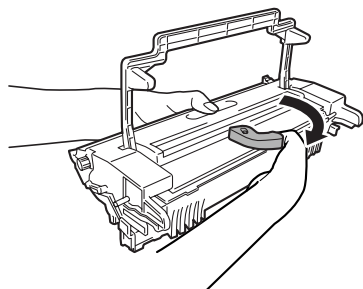
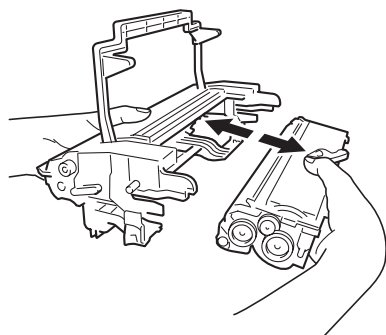
ご注意

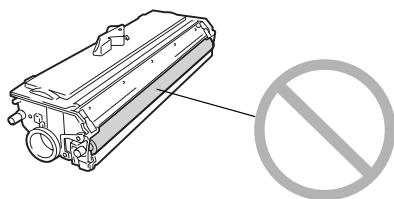
OPC ドラムは、明るい光、直射日光、接触に非常に敏感です。ドラムカートリッジは、装着するまでは保護袋に入れておいてください。

本書では、ドラムカートリッジにトナーカートリッジが取り付けられているものを、イメージングカートリッジといいます。

1 前カバーグリップをつかみ、前カバーを開きます。

2 イメージングカートリッジの取っ手を手前に引いて、イメージングカートリッジを取り出します。

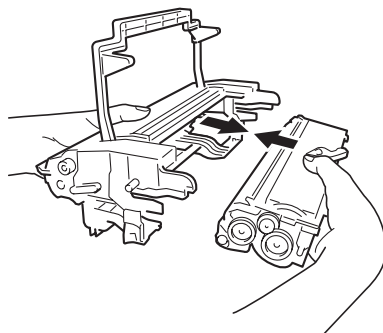
3 トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に動かします。

4 両手でトナーカートリッジとドラムカートリッジを引き離します。

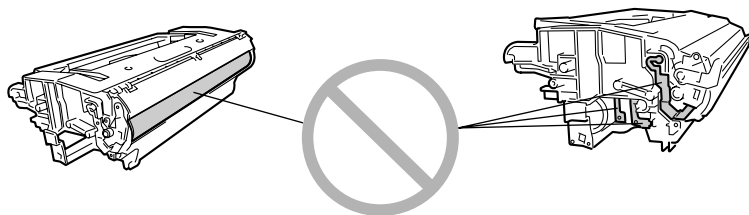
ご注意

トナーカートリッジとドラムカートリッジを引き離すときは、水平なままで行ってください。

トナーカートリッジの現像ローラーには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

5 新しいドラムカートリッジを箱から取り出します。

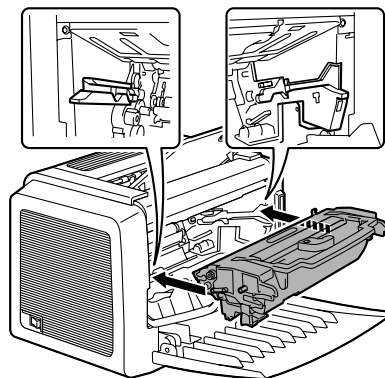
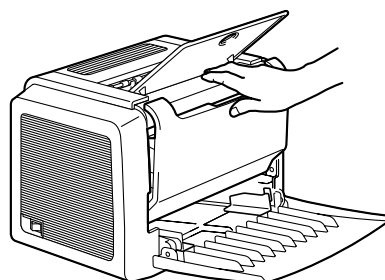
箱は捨てないでください。使用済みのドラムカートリッジを梱包するときに使用します。

6 両手でトナーカートリッジとドラムカートリッジを持ちながら、ドラムカートリッジのカラーのマークをトナーカートリッジの同じ色のマークに沿わせて、両方のカートリッジをはめ合わせます。

ご注意

ドラムカートリッジのフタの下にある PC ドラムには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

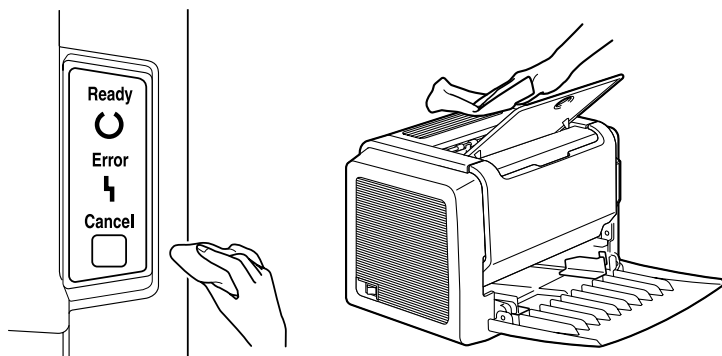
ドラムカートリッジの金属部品には触れないでください。触れると、静電気により損傷する恐れがあります。

7 イメージングカートリッジをプリンタ側のガイドに沿わせて、中に差し込みます。

ご注意

イメージングカートリッジを斜めに差し込んだり無理な力で押し込んだりしないでください。プリンタが損傷する恐れがあります。

8 前カバーグリップを押して、前カバーを閉じます。

9 使用済みのドラムカートリッジを、新しいドラムカートリッジが入っていた箱に入れます。

メンテナンス 7

プリンタの清掃

プリンタの外側

ご注意

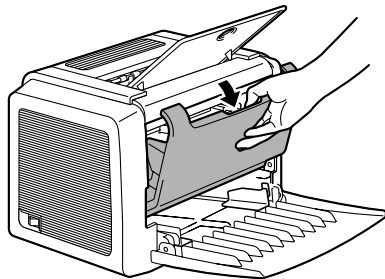
プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間からスプレー液が入り込むと、内部の回路が損傷する恐れがあります。

警告！

プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電の恐れがあります。

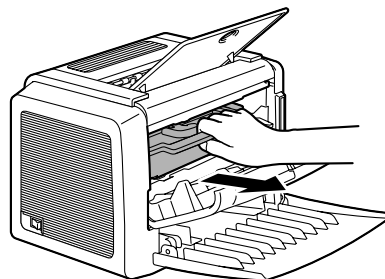
給紙ローラー

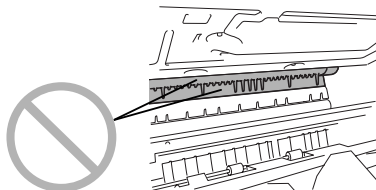
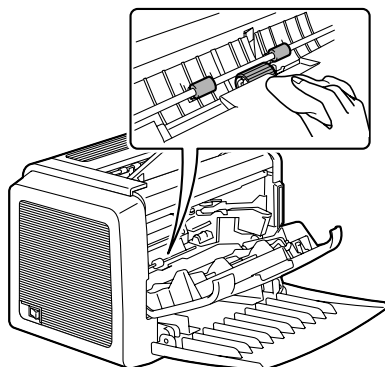
1 清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブルやすべてのインターフェイスケーブルを外してください。

2 前カバーグリップをつかみ、前カバーを開きます。

3 イメージングカートリッジの取っ手を手前に引いて、イメージングカートリッジを取り出します。

ご注意

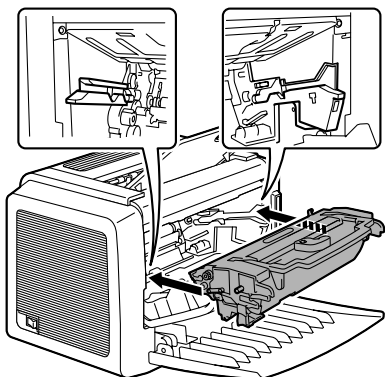
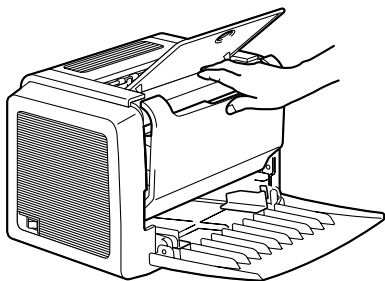
イメージングカートリッジを長時間光に当てないでください。ドラムカートリッジが光に当たると、画像品質が低下する恐れがあります。

注意

定着部は非常に高温になります。定着部の付近に触れると、やけどの恐れがあります。

プリンタ内部の画像転写ローラーには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

4 給紙ローラーを、柔らかい乾いた布で拭きます。

5 イメージングカートリッジをプリンタ側のガイドに沿わせて、中に差し込みます。

ご注意

イメージングカートリッジを斜めに差し込んだり無理な力で押し込んだりしないでください。プリンタが損傷する恐れがあります。

---

6 前カバーグリップを押して、前カバーを閉じます。

トラブルシューティング

8

ランプによるメッセージ

操作パネルのランプ（［Ready］、［Error］）は、プリンタの状況を示し、問題が起こっている箇所を把握するのに役立ちます。

エラーメッセージ

これらは、印刷ジョブを継続したりプリンタステータスを「レディ」にするために解決しなければならない問題の内容を示すエラーメッセージです。

［Ready］ランプ（緑）	**［Error］ランプ（オレンジ）**	**状況**	**処置のしかた**
点滅	点滅	通信エラー	プリンタケーブルを確認してください。
		解像度不足	プリンタの電源を切り、数秒後にプリンタの電源を入れ直してください。 低い解像度に設定を変更してください。
交互にすばやく点滅		プリンタドライバで指定された給紙トレイに用紙が入っていません。	給紙トレイ 1 に正しい種類の用紙をセットしてください。
		用紙サイズエラー ステータスディスプレイで「自動継続」機能が有効になっているときは、事前に設定した時間が経過した後、既に給紙されている用紙が自動的に使用されます。	給紙トレイ 1 に正しいサイズの用紙をセットしてください。
		手動両面印刷の待機中	用紙の裏面をセットしてください。（「手動両面印刷」（p.31）参照）
		校正印刷の待機中	校正印刷の結果に問題がなければ［Cancel］ボタンを押してください。校正印刷の結果に問題がある場合は、［Cancel］ボタンを 5 秒以上押し続けて現在の印刷ジョブをキャンセルしてください。

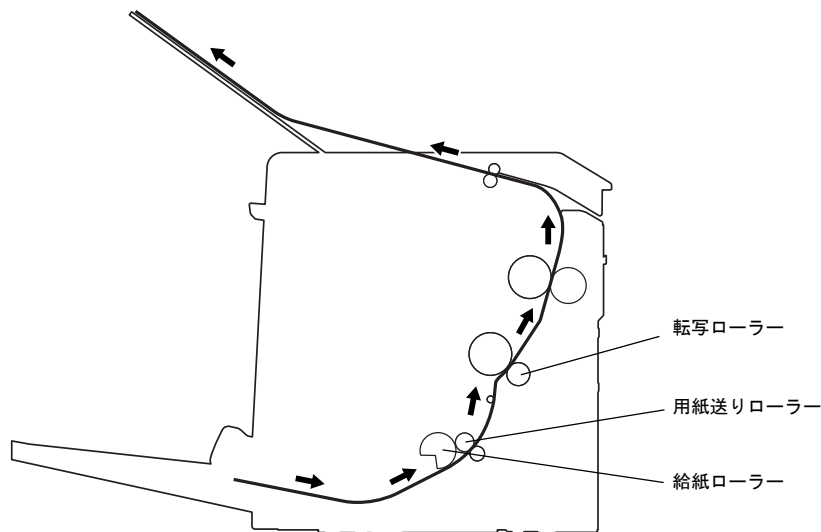
［Ready］ランプ（緑）	［Error］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
オフ	ゆっくり点滅	用紙なし	給紙トレイ 1 に用紙をセットしてください。
オフ	点滅	紙づまり	つまった用紙を取り除き、前カバーを閉じてから、印刷ジョブを続行してください。
オフ	点灯	前カバーまたはトップカバーが開いています。	前カバーまたはトップカバーを閉じてください。

サービスメッセージ

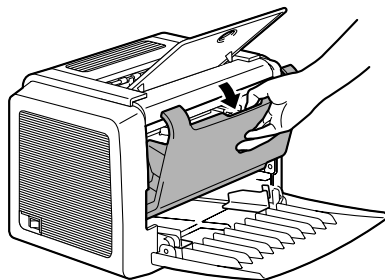
このメッセージは、カスタマーサービスエンジニアによる修復が必要な故障を示すメッセージです。

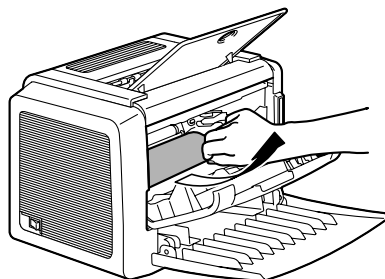
［Ready］ランプ（緑）	［Error］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	フェイタルエラー	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、販売店に連絡してください。

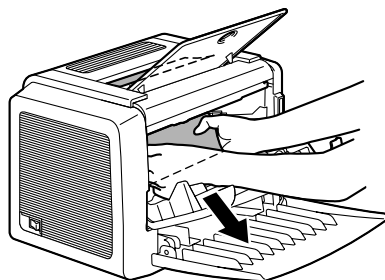
紙づまりの処理

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1 前カバーグリップをつかみ、前カバーを開きます。

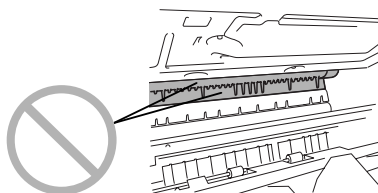
2 イメージングカートリッジの取っ手を手前に引いて、イメージングカートリッジを取り出します。

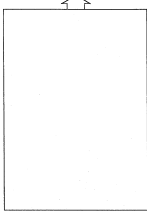
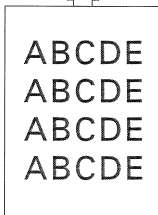
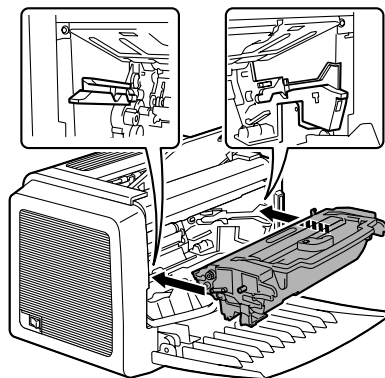
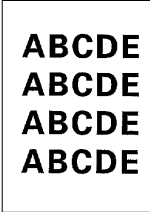
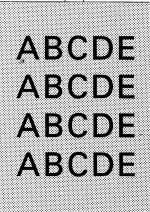
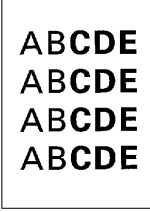
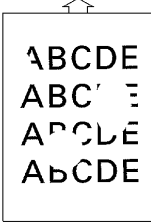
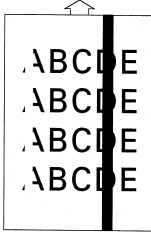
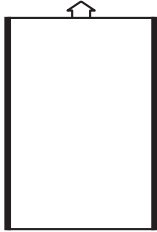
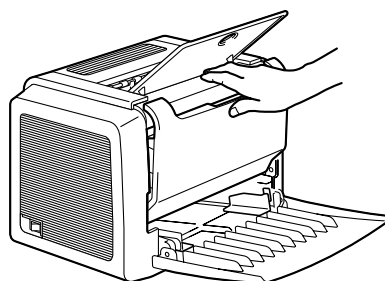
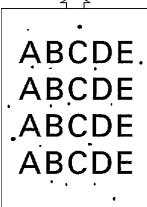
ご注意

イメージングカートリッジを長時間光に当てないでください。光に当てると、画像品質が低下する恐れがあります。

3 つまった用紙を給紙方向に引き抜きます。

ご注意

用紙が定着部でつまっているときは、用紙を下に引き抜いて取り除いてください。

注意

定着部は非常に高温になります。定着部の付近に触れると、やけどの恐れがあります。

プリンタ内部の画像転写ローラーには触れないでください。触れると、画像品質が低下する恐れがあります。

4 イメージングカートリッジをプリンタ側のガイドに沿わせて、中に差し込みます。

ご注意

イメージングカートリッジを斜めに差し込んだり無理な力で押し込んだりしないでください。プリンタが損傷する恐れがあります。

5 前カバーグリップを押して、前カバーを閉じます。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
まっ黒に印刷される	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタの修理が必要な場合があります。	販売店に連絡するか、「ジェネラルインフォメーションガイド」をご覧ください。
印刷が薄い ABCDE ABCDE ABCDE ABCDE	トナーカートリッジのトナーが残り少なくなっている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。 問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタドライバで、画像の「コントラスト」や「明度」が正しく設定されていない可能性があります。	プリンタドライバで「品質」タブをクリックして「コントラスト」と「明度」を調整してから、もう一度印刷し直してみてください。

症状	原因	処置のしかた
印刷が濃い	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタドライバで、画像の「コントラスト」や「明度」が正しく設定されていない可能性があります。	プリンタドライバで「品質」タブをクリックして「コントラスト」と「明度」を調整してから、もう一度印刷し直してみてください。
全体に汚れる	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない	トナーカートリッジ内のトナーが偏っている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。
	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	画像転写ローラーが壊れている可能性があります。	販売店に連絡して、画像転写ローラーの交換を依頼してください。

症状	原因	処置のしかた
一部分が欠ける	湿度が高いため、または水に濡れたために、用紙が湿気を帯びている場合があります。	トナーは湿った用紙に付着しないため、乾いた用紙を使用してもう一度印刷してください。
白または黒の線が入る	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
用紙の端に黒い線が入る	転写ローラーが汚れています。	販売店に連絡して、画像転写ローラーの交換を依頼してください。

症状	原因	処置のしかた
トナーのしみがある	トナーカートリッジ内のトナーが偏っている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。
	トナーカートリッジが壊れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙送りローラーが汚れている可能性があります。	販売店に連絡して、用紙送りローラーの清掃を依頼してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びています。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタの保証範囲内の用紙を使用していない可能性があります。	プリンタの保証範囲内の用紙を使用してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない可能性があります。	封筒、ラベル紙、厚紙、OHPフィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を正しく指定してください。

付録

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型レーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 電子写真方式
露光方式	レーザーダイオード + ポリゴンミラースキャン
現像方式	非磁性 1 成分接触現像
解像度	1200 dpi × 1200 dpi（半分の印刷速度になります）、 600 dpi × 600 dpi、1200 dpi × 600 dpi
プリント速度	600 dpi × 600 dpi、1200 dpi × 600 dpi の場合 PagePro 1300W: 16 ページ／分（A4 サイズ） 17 ページ／分（レターサイズ） PagePro 1350W: 20 ページ／分（A4 サイズ） 21 ページ／分（レターサイズ） 1200 dpi × 1200 dpi の場合 10 ページ／分（A4 ／レターサイズ）
ファーストプリント時間	1200 dpi × 600 dpi の場合 13 秒以下（A4 ／レターサイズ） 1200 dpi × 1200 dpi の場合 22 秒以下（A4 ／レターサイズ）
ウォームアップ時間	起動時、21 秒以下
用紙サイズ	• 用紙：レター、リーガル、Executive、G Letter、Statement、Folio、Letter Plus、UK Quarto、Foolscap、G Legal、16K、A4、A5、B5 JIS、Chinese 16K、Chinese 32K、カスタムサイズ • 封筒：#10、Monarch、DL、C5、C6、B5 (ISO)、長形 3 号、長形 4 号 • はがき、往復はがき

用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（90 ～ 163 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙
給紙	• 給紙トレイ 1
給紙容量	• 給紙トレイ 1：150 枚
排紙容量	• 排紙トレイ：100 枚
動作時の温度	10 ℃～ 35 ℃
動作時の湿度	15% ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：900W 以下 節電モード時：15W 以下 電源オフ時：0W
電流	9.2 A 以下
ノイズレベル	印刷時：54 dB 以下 スタンバイ時：35 dB 以下
外形寸法 （給紙トレイ 1 と排紙トレイが閉じられた状態）	高さ：283 mm 幅：387 mm 奥行：291 mm
質量	プリンタ本体：約 6 kg ドラムカートリッジ：約 0.3 kg トナーカートリッジ：約 0.5 kg
インターフェイス	IEEE 1284 準拠 type B（互換／ニブル／ ECP） USB Revision 1.1 準拠
CPU	Naltec N1 チップ
標準メモリ	8 MB

パラレルインターフェイスコネクタ、パラレルケーブル

コネクタ	プリンタ側：パラレル 36 ピンコネクタ コンピュータ側：EIA 25 ピンコネクタ
ケーブルタイプ	シールドタイプ 各信号線とグランド線がツイストペアになっていること
ピン割り当て	IEEE 1284 準拠 type B コネクタ

USB インターフェイスコネクタ、USB ケーブル

コネクタ	プリンタ側：シリーズ B プラグ コンピュータ側：シリーズ A プラグ
ケーブルタイプ	ツイストデータコンダクタもしくはシールドされたコンダクタが必要
ピン割り当て	1: V_{BUS} 2: D+ 3: D- 4: GND シェル：シールド

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安（片面のページ数）
トナーカートリッジ	印字率 5%、A4 サイズの用紙の場合 製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1,500 ページ 交換したトナーカートリッジ： 約 3,000 ページ（連続印刷時）、 約 2,400 ページ（間欠印刷時） 約 6,000 ページ（連続印刷時）、 約 4,800 ページ（間欠印刷時）
ドラムカートリッジ	16,000 ページ（間欠印刷時、 例：単ページの印刷ジョブ） 20,000 ページ（連続印刷時）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記サポートセンターにお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9：00 ～ 12：00、午後 1：00 ～ 5：00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

再生紙の使用について

本機は、古紙 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

索引

U

い

し

す

せ

と

ひ

ふ

へ

よ

ら

り